

報道関係者各位

2021年7月20日

株式会社アマナ

アートの街・東京丸の内の「東京大壁画」プロジェクトに参画 ～アマナ FLAT LABO がアート界のレジェンド・横尾 忠則作品の制作に全面協力～

クリエイティブでコミュニケーション変革を実現する株式会社アマナ（本社：東京都品川区、代表取締役社長 兼 グループ CEO 進藤博信、以下「アマナ」）はこの度、東京・丸の内に建つ二つのビル「丸の内ビルディング」（以下、丸ビル）と「新丸の内ビルディング」（以下、新丸ビル）の壁面を利用した巨大なガラスウォール壁画「東京大壁画」（主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京）に参加します。



「東京大壁画」（総面積は 7,752 m²）は、高さ約 150m、横幅約 35m の巨大壁画アート 2 作品を、東京・丸の内のランドマークである丸ビルと新丸ビルの壁面を一对のキャンバスに見立てて展示するもので、オリンピック・パラリンピックが開催される東京を文化面から盛り上げる芸術・文化の祭典「Tokyo Tokyo FESTIVAL」(<https://tokyotokyofestival.jp/>) のシンボルともいえる世界最大級のパブリックアート展示です。また本作品は、Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13 最後の企画となります。

東京の玄関口である丸の内の「東京大壁画」のアーティストには、1960年代から常に第一線で活躍し、日本のみならず世界を魅了し続けるアート界のレジェンド・横尾 忠則氏と、日常的な事物を丹念に愛玩的に描くことで知られる画家の横尾 美美氏を起用。初の親子競演ともなる巨大壁画では、同一のコンセプト「宇宙 COSMO POWER」でそれぞれ『水 (aqua)』（新丸ビル側）と『火 (ignis)』（丸ビル側）をテーマにオリジナル作品が展示されます。

その横尾 忠則氏の「滝」のポストカードの高精細なデジタルデータ化を手がけたのが、アマナの Co-Visualization スタジオ『FLAT LABO』です。横尾 忠則氏は、荒俣 宏氏との共著『滝狂一横尾忠則 Collection 中毒』（新潮社、1996年）にて世界中の「滝」のポストカード 13,000枚を洪水のごとく表現している他、作品『滝のインスタレーション』を発表していますが、この度、新丸ビル側の壁画に展示する作品『水 (aqua)』において、横尾氏自身が世界中から集めた



965枚の「滝」のポストカードをコラージュすることで、垂直に落下する「滝」という「生命の循環運動」を力強く表現しています。本プロジェクトの企画運営を手掛ける株式会社ドリル制作のプロモーションビデオ (<https://youtu.be/39mz4let-N4>) では、『FLAT LABO』のスキニングの様子をご覧ください。『FLAT LABO』は、これまで美術館が所蔵する貴重な文化財やアーティスト作品のデジタルデータ化を数多く手がけてきましたが、今回のプロジェクトにおいても、この技術とノウハウが活かされています。



▼「東京大壁画」イベント詳細

<http://www.tokyodaihekiga.jp>

実施期間：2021年7月17日（土）～2021年9月5日（日）
 実施場所：丸ビル（千代田区丸の内2-4-1）、新丸ビル（千代田区丸の内1-5-1）
 アクセス：JR 東京駅丸の内南口より徒歩1分、東京メトロ丸ノ内線東京駅直結
 主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
 企画運営：株式会社ドリル
 後援：三菱地所株式会社、三菱地所プロパティマネジメント株式会社（会場協力）
 協力：株式会社アタマトテ、株式会社アマナ、株式会社アンテナ、株式会社 Odds Design

<作家プロフィール>

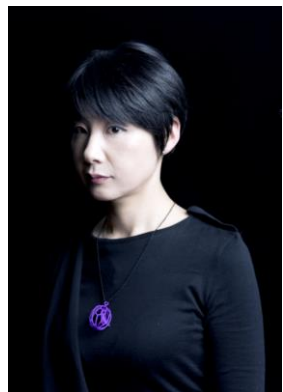
横尾 忠則（よこお・ただのり）氏

1936年兵庫県生まれ。美術家。1972年に米国 NY 近代美術館で個展。その後もパリ、ヴェネツィア、サンパウロなど各国のビエンナーレに出品。パリのカルティエ財団現代美術館など各国の美術館で個展を開催。2015年高松宮殿下記念世界文化賞、2020年度東京都名誉都民顕彰。現在、東京都現代美術館にて、大規模な個展が開催されている。
(<https://www.mot-art-museum.jp/exhibitions/genkyo-tadanoriyokoo/>)



横尾 美美（よこお・みみ）氏

画家。1994年「Tadanori & Mimi YOKOO」展にて展覧会デビュー。1995年個展開催以降、東京を中心に全国各地で開催。2000年 PLEATS PLEASE ISSEY MIYAKE MILLENNIUM、Spring Summer2000を担当。近年には、me ISSEY MIYAKE “MIMI YOKOO”の第一弾（2017年）から第三弾（2020年）までコラボレーションを展開。



Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13 について

斬新で独創的な企画や、より多くの人々が参加できる企画を幅広く募り、Tokyo Tokyo FESTIVAL の中核を彩る事業として、東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京が実施するものです。国内外から応募のあった 2,436 件から選定した 13 の企画を、「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13」と総称し、展開しています。

▼FLAT LABO とは

<https://flatlabo.com/>

アマナが提供するこだわりのプリントディレクションサービス。美術館クオリティーのプリント出力から、オリジナル作品の制作にいたるまで、アマナ専属のプリンティングディレクターがクライアントの様々なニーズにお応えし、幅広いソリューションを提供しています。アクリルプリント、特殊素材へのプリント、美術館級の大型プリント、またスキャンングや額装までを手掛ける FLAT LABO のプリンティング技術やさまざまなクリエイティブ・アウトプットは、2019年に長野県北佐久郡御代田町で開催された第一回浅間国際フォトフェスティバル (<https://asamaphotofes.jp/>) でも大きな注目を集めました。

今年年初には、創業 450 年以上のフランス老舗製紙メーカーであるキャンソン社の国際認定プログラム「キャンソン・インフィニティ認定プリントラボ (Canson® Infinity Certified Print Lab)」の日本第 2 号の公認を受け、同社が求める世界最高品質のプリントサービスが提供できるラボとしても正式に認められました。

amana



提供すること

伝わり、動かす Co-Creation Partner

企業や社会の本質的な価値や課題を見出して、ビジュアライズ:具現化することで、
「届けたい想いが伝わり、行動を促す」コミュニケーションを創ることがアマナの使命です。

目指すこと

世界にノイズと美意識を

人の創造力という可能性を拡張し、社会の感性を豊かにすること。
そのためには人それぞれが持つ「ノイズ」と「美意識」が重要だとアマナは信じています。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社アマナ | コーポレートコミュニケーション (担当: 住永)

TEL: 03-3740-3500 MAIL: pr@amana.jp

株式会社アマナ 会社概要

代表者 : 代表取締役社長 兼 グループ CEO 進藤博信

所在地 : 東京都品川区東品川 2-2-43

設立 : 1979年4月

資本金 : 1,097百万円

証券コード : 東証マザーズ 2402

売上高 : (連結) 17,268百万円 ※2020年度12月期実績

従業員数 : (連結) 1,041名 ※2021年1月1日現在

事業内容 : ビジュアルコミュニケーション事業 (コミュニケーション領域における戦略・企画立案、ブランドデザイン&アクティベーション、インナーコミュニケーション、コンテンツマーケティング、コンテンツ制作・編集、プロトタイピング、ムービー/グラフィック制作、WEB制作、その他各種プロモーション施策の立案など)

URL : <https://amana.jp/>